

監事監査報告書

平成28年5月7日

社会福祉法人 半田同胞園
理事長 酒井なつ江 殿

私たち監事は、社会福祉法第40条及び関係法令に基づき、社会福祉法人半田同胞園の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査結果を次のとおり報告します。

(自署押印)

監事 近藤 敏通
監事 二宮 公平

監査日時	平成28年5月7日(土曜日) 9時00分から 12時00分まで
監査場所	社会福祉法人 半田同胞園 本館 2階会議室
監査実施内容	・平成27年度 会計執行状況及び法人、施設運営所状況
監査結果 意見	別紙「監事監査意見」のとおりです。 会計執行状況については、決算書及び附属明細書と現金出納帳、預金残高証明、総勘定元帳との突き合わせを実施しました。その結果上記書類は正確かつ適正に処理されていると見受けられます。

監事監査意見 平成27年度

1 人事管理について

人材育成については、目標管理や業務評価シートの手法を活かして職員のやる気を引き出す努力が見受けられます。また、研修についても県内外への研修や交流が積極的に行われていることが確認できました。今後は、本部事務局長、施設長など重責職員の後継者育成に取り組むことを望みます。給料表で言う5等級職員（副所長）が空席になっていることから、女性管理職の登用など10年先、20年先を見据えた後継者育成を期待します。

インフルエンザの予防接種や健康診断などを実施していますが、もう一步踏み込んで早期発見・早期治療をめざすことも検討していただきたい。例えば、35歳以上の全職員は人間ドック（胃の透視検査や乳腺検査など）を個人負担なしで受診できるよう検討されたいかがでしょう。また産業医の健康相談がもっと気楽に行えるような工夫を望むものです。

（メンタルチェックも含め）

2 備品管理について

10万円以上の備品については、固定資産管理台帳で管理されていましたが、27年の棚卸確認がされていないものが見受けられました。10万円未満であっても、一定の価格以上（例えば5万円以上）で購入した備品については、園の大切な財産なので何らかの管理を検討されることを望みます。

3 安全衛生管理について

地震や火災などの災害に対する訓練は十分に行われていました。今後も、幼い子供たちの安全面と衛生面には十分な配慮を願うものです。

4 文書管理について

文書管理については、保存期間経過文書の廃棄などが適正に実施されていることを確認させていただきましたが、文書管理規程が規程集にないので、整備されることを指摘させていただきました。

5 その他

経営会議を頂点に、本部会議や運営会議などが適正に開催され、園内の情報伝達や問題解決が円滑にされていました。トップダウンとボトムアップがうまく機能しているように感じました。ただし、事業計画などについて提案や決定のプロセスが口頭で行われているケースもありました。パソコンの導入促進と稟議書の活用を検討されることを望みます。

以上、監査について意見を述べさせていただきました。心のこもった園の運営がされていることに感服しました。今後、園舎の建設など大きな財源を必要とする事業が予定されていることから、中長期的ビジョンを持った人材育成計画・事業計画・予算計画を策定されることを望むものです。

平成28年5月7日 監査 二宮公平